

木製玄関ドア オプション袖用F I X・オプションケーシング

グレイス

スタイル

GRACE / STYLE

このたびは、阿部興業の製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

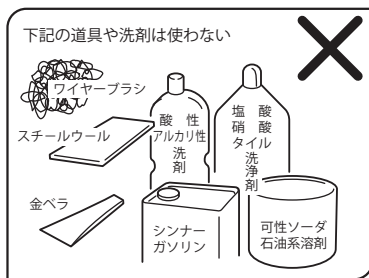
- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 製品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一製品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社まで速やかにご連絡ください。
- 照明灯等の熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は 1 m 以上離して作業してください。

⚠ 必ずお守りください

- 安全について
 - 1. ドア本体(約30kg ※GRACEは約40kg)は重量があります。必ず2人以上で作業してください(事故・製品破損の原因)。
 - 2. 施工時はヘルメット、安全靴等を着用してください(事故原因)。
 - 3. 施工中のドアが倒れ、通行人や工事関係者が負傷しないよう、特にドア仮固定作業中は安全防護策を施してください。
- 製品取扱いについて
 - 1. 製品を開梱したら外観に損傷が無いかご確認ください。躯体取付け済み製品の損傷については保証対象外となりますので、取付け前に必ずご確認ください。
 - 2. 製品の養生は下記注意事項を厳守ください。
 - ①養生テープは直接表面に貼らないでください。
 - ②養生テープは粘着力の弱い養生用紙テープをご使用ください。
 - 3. 本製品は玄関ドア以外への転用及び改造しないでください。
- 施工について
 - 1. 施工場所
ひさし等を設置して、直射日光を1日2時間以内にする遮光措置、および通常の雨の際に直接雨がかからない措置を講じてください。
 - 2. 施工下地
ドアの重量は約30kg (GRACEは約40kg) です。開閉等に充分耐えられるよう、開口部を補強してから施工してください。
 - 3. 施工期間中の清掃方法
施工中の汚れ落しは、やわらかい布かスポンジに水をつけ、たたくしぼって拭いてください。落ちにくい汚れは中性洗剤をお湯でうすめて(うすめの度合いは使用する洗剤メーカーの使用書に従う)拭き落とし、すぐに水拭きをして洗剤分を落としてください。洗剤分を落さない場合、化学反応により変色を早める原因になります。

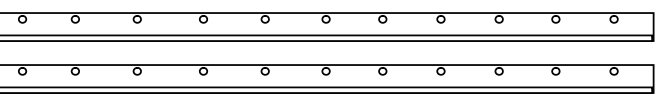
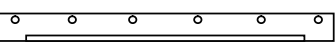
⚠ ご注意 ⚠

- (1) たわし・ほうき・ワイヤーブラシ・スチールウール等でこすらないでください。
表面に傷がつく恐れがあります。
- (2) シンナー・ガソリン等の有機溶剤、または中性以外の洗剤を塗布しないでください。
艶の変化や変色が起こる恐れがあります。
- (3) 自動車用ワックスをかけたり、化学雑巾で拭かないでください。艶の変化や変色が起こる可能性があります。



部材部品構成一覽

梱包	商品	個数	備考
袖用FIX	4方枠(組立品+ガラス+下枠)+取付フィン	1式	図面参照

		枠組包	
袖用 F I X		部材名	
	1		
	①	取付フィン(縦用) (2)	
	②	取付フィン(上用) (1)	
	③	枠取付ビス袋	 種類・本数は裏面の 「枠取付ビス袋詳細」 をご覧ください。

枠取付ビス袋内訳			
組立ビス	取付フィン組立ビス	M4×20トラスタッピングネジ 	27
取付ビス	躯体取付ビス 取付フィン	M4×20トラスタッピングネジ 	25
	躯体取付ビス 3方枠	4.2×65木ネジ 	8

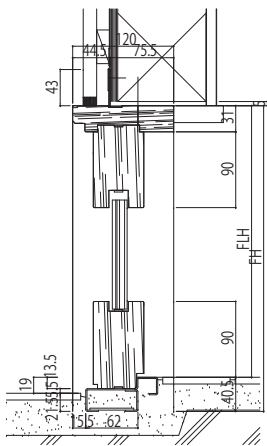
ケーシング梱包(オプション)

The diagram illustrates three different casing packaging options. On the left, there is a single, short, rectangular casing piece. To its right, there are two longer, rectangular casing pieces stacked vertically, representing a pair or a set of two.

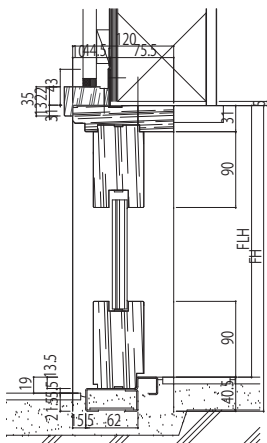
納まり図【縦断面図】

<STYLE・GRACE共通>

- 袖用F I X



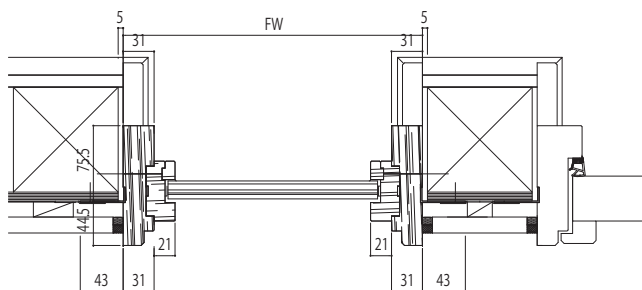
- ## ●オプション ケーシング



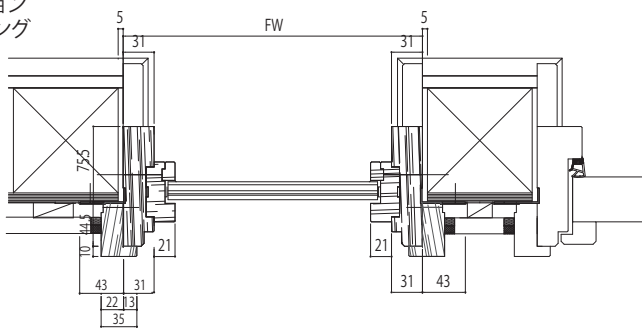
納まり図【横断面図】

<STYLE・GRACE共通>

- 袖用 F I X



- ## ●オプション ケーシング



袖用 F I X スタンダードサイズ表		単位:mm	
寸法名称	サイズ	寸法名称	サイズ
FW	300	FH	2313
		FLH	2272.5

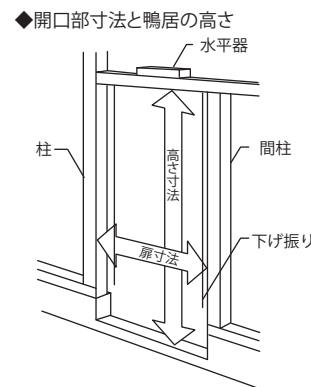
《取付手順》

1 図面の確認

- 現場状況を、図面と照らし合わせて確認してください。

2 開口部の確認

- ドアの重量は約30kg (GRACEは約40kg) です。開閉時の衝撃などにも十分に耐えられるように、しっかりした躯体に施工してください。
- 開口部の柱・間柱の垂直、まぐさの水平をレーザー照準器・下げ振り・水平器等の計測器で確認してください。傾斜がある場合は修復してください。
- 傾斜した開口部、ねじれた開口部には施工しないでください。
- 開口部はFW寸法より10mm程度、FH寸法より5mm程度広くしてください。
- 下枠のレベルだしを行い、室内土間及び室外土間のレベルが間違いないか確認してください。
- 枠の張り出し寸法は、取付躯体から44.5mmです。通気層・外壁材・水切りなどが納まるか確認してください。



3 商品の確認

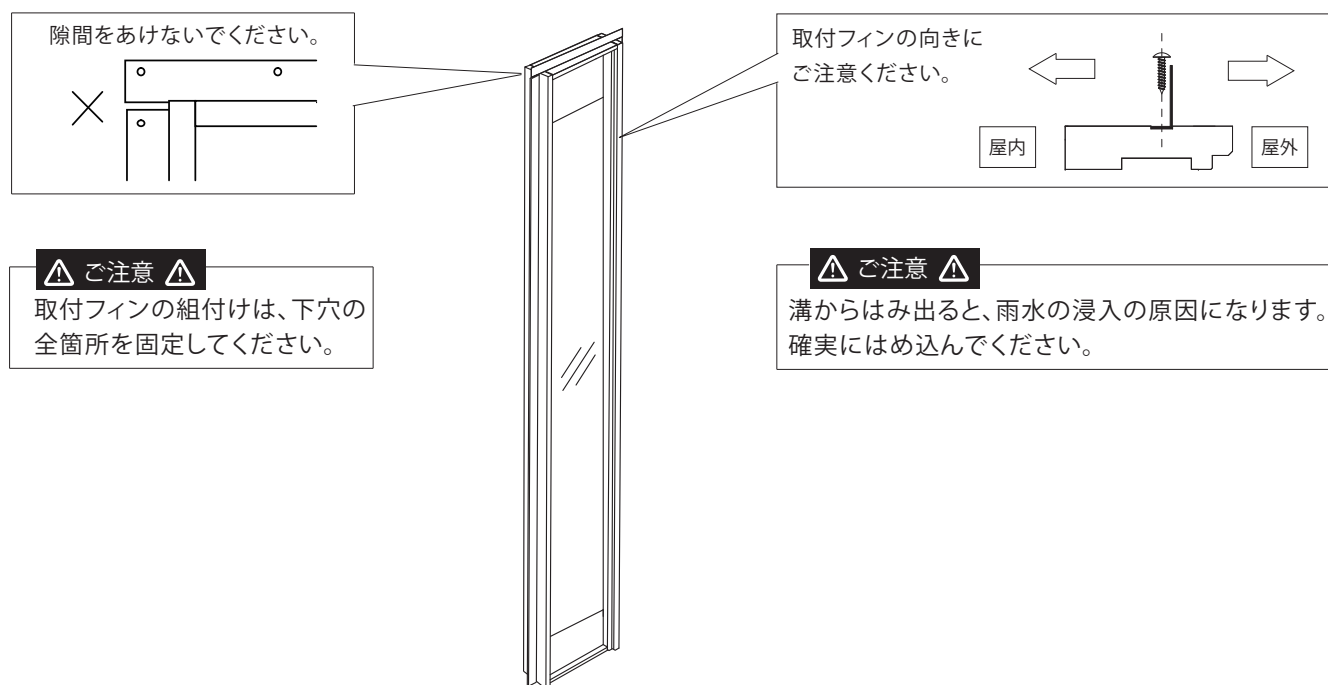
- 枠、ドアの部材点数、金物点数を確認してください。
- 傷、破損がないかを必ず確認してください。

★Point★

- ・部材部品構成一覧のリスト内容で確認してください。
- ・開梱の際は、カッターナイフ等を使用しないでください。

4 取付フィンの組付け

- 取付フィンを3方枠の溝に確実にはめ込んで、取付フィン組付ビスで組み付けてください。



5 躯体開口部への枠の仮取付け

- 躯体開口部に組み立てた枠をはめ込んで、取付フィンを数箇所、躯体に仮固定してください。

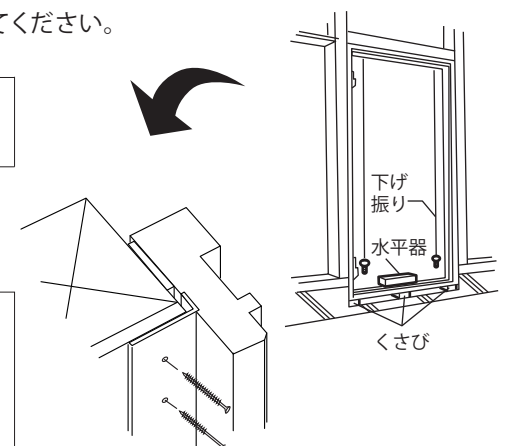
⚠ ご注意 ⚠

下枠のレベル位置を合わせてください。

- 枠の曲がりを確認してください。レーザー照準器・下げ振り・水平器等の計測器を使用して、傾斜がある場合は修正してください。

⚠ ご注意 ⚠

右のような曲がりが生じた場合、扉が閉まらない、鍵がかからないなどの不具合が生じます。必ず修正してください。



6 枠の本取付け

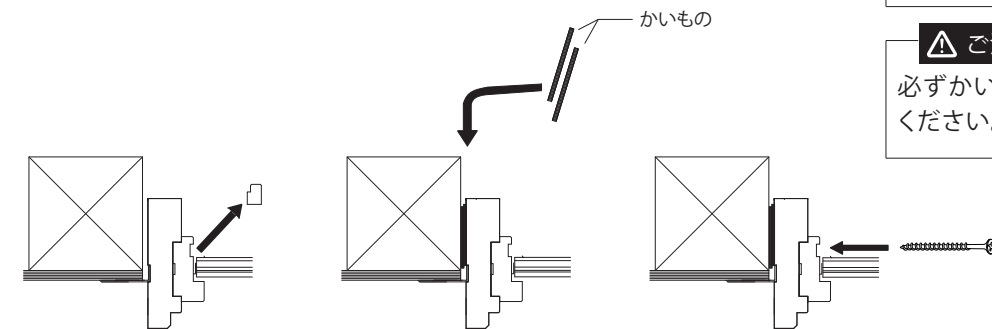
- 取付フィンを全箇所、躯体に固定してください。
- ガラスの押し縁を取り外してください。
- 枠と躯体の隙間に、かいものを詰めて下穴から枠固定ビスで固定してください。

⚠ ご注意 ⚠

必ず専用ビスを使用ください。枠の材料に特殊な処理を施しており、他のビスを使用した場合、著しい錆が発生する恐れがあります。

⚠ ご注意 ⚠

必ずかいものを詰めてからビスで固定してください。



- 下枠の内部にモルタルを十分に充填してください。

⚠ ご注意 ⚠

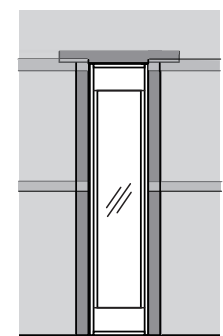
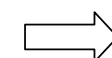
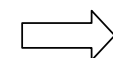
モルタルは必ず内部にも充填させてください。不十分な場合、変形する恐れがあります。

- 枠周りの防水処理を行ってください。

★Point★

75mm以上の防水両面テープ等を取り付け、フィンの躯体固定ビスを隠すように施工してください。

防水シート等を防水テープにかぶせるように施工してください。



⚠ ご注意 ⚠

- ・テープを貼り付ける部分の油分やホコリを除去してください。
- ・浮きやしわが生じないように施工してください。
- ・取付フィン端部・ビス部分等の凹凸がある部分、テープの重なり部分はヘラ等を用いて強くこすり付けてください。

7 ガラスの押し縁の取付け

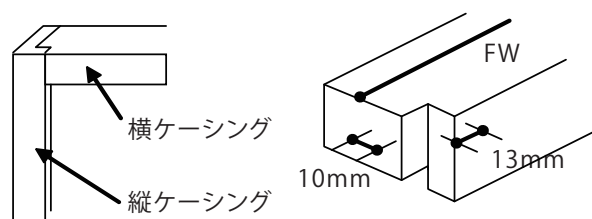
- 枠の取付け時に外したガラスの押し縁をビスで固定してください。



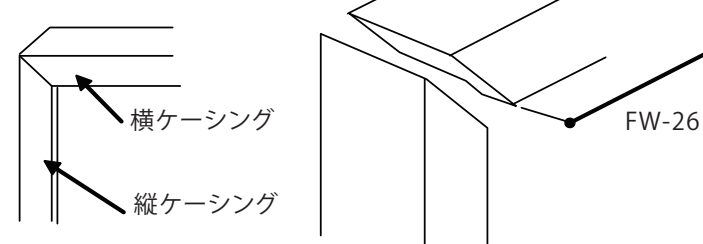
8 ケーシングの取付け ※オプション

- 接合部の形状を選択し、所定の仕口に加工作してください。

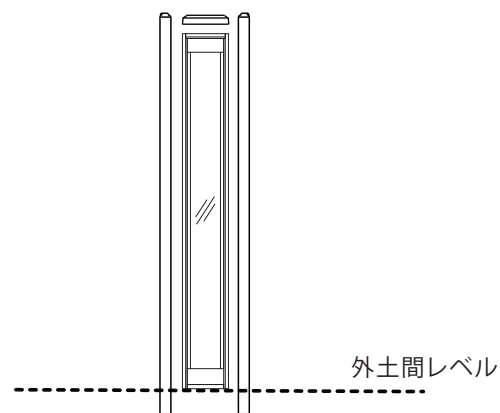
① 縦勝ち形状



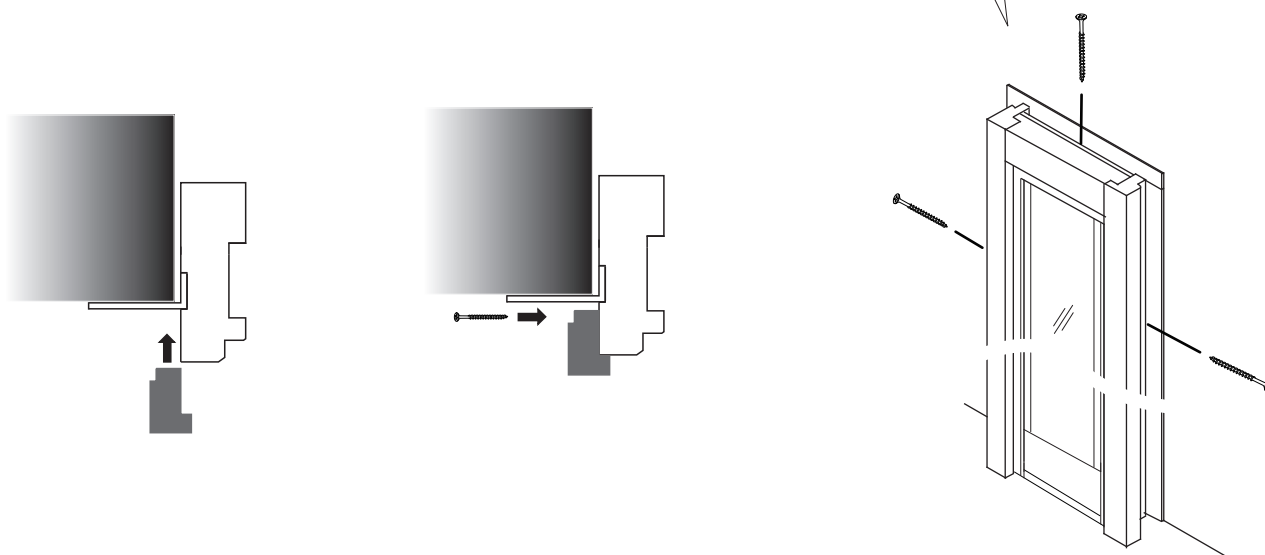
② 留め形状



- 所定の長さにケーシングを切断してください。



- 下図を参考にして、3方枠にあてがって、外壁材で隠れる位置でビス固定してください。



9 最終調整

- ビスの締まりを確認してください。

⚠ ご注意 ⚠

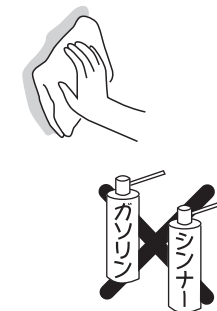
インパクトドライバー、電動ドライバーは使用しないでください。

10 クリーニング・養生

- 製品に付着した汚れを除去してください。

⚠ ご注意 ⚠

- ・ ドアを拭く際は乾いた布で行ってください。
- ・ クリーニングは、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- ・ シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ・ ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
- ・ ワックス等を塗りすぎないようにしてください。



- 製品全体を養生してください。

⚠ ご注意 ⚠

一部分が露出していると、日焼けによる色の差が生じることがあります。

⚠ ご注意 ⚠

養生テープは粘力の弱い紙製の養生テープを使用してください。ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘力の強いものがあり、表面を傷める危険があります。使用しないでください。

11 引渡しまでの注意

- 長時間、水分が付着しないようにしてください。
- その他カタログ等に記載された免責事項をご覧ください。